

# 令和2年度下半期活動報告

## 中部地区まちづくりセンター

### 居場所「いっぶぐあが家」

コロナ禍で活動を制限される中、6月から再開した地域の居場所は順調に活動しています。時には制限人数を超える人が集まりスタッフを慌てさせる事もありました。中津川の中村春美さんの「大人も楽しい紙芝居」その後異年齢交流で「NPO 法人ほっと」の子ども達と芋煮。香月の和菓子を自分達で作ってお茶会。白川荘での「正月飾りしめ縄リース作り」。クローバー会によるクリスマス会。高橋昭博さんによる「お相撲おもしろ話」。長井のイクメン住職でお馴染みの小野卓也さんの「仏の教え」。一番人数が集まった「瞽女(ゴゼ)さんの唄が聞こえる」DVD上映会。等々、皆で楽しく過ごす事が出来ました。



でも、居場所の問題はやはり移動支援！ 期間中、移動支援のレクチャーを受け Zoom 会議も頻繁に受けながら詰めています。

### 地域学校協働活動とコミュニティスクールの一体的推進

昨年、コロナ禍で活動出来なかった「放課後子ども教室」、第一小の平田校長先生と地域学校協働活動推進員の酒井かね子先生との話し合いを持つことが出来ました。校長先生からは「まさに今必要とされている事は、これですよ！」とお墨付きを頂きました。まずは総合学習の場で、町婦人会の小松とき子さん、嶋貫幸子さん、嶋貫政子さん、長井の地域おこし協力隊 松本さん、飯豊の地域おこし協力隊 家財さんにお手伝いを頂いて『昔の遊び』お手玉・おはじき・けん玉・まり付きをしました。



今後の「放課後子ども教室」には中部地区の長生会や婦人会・婦人学級、獅子連その他色々な団体の方にお手伝い頂く事になっています。地域と学校、そして子ども達が共に集い支え合う。そんな地域になって貰えば嬉しいです。

### 『第5次総合計画(地区別計画)』と『まちづくりセンター』

飯豊町第5次総合計画策定が、令和元年度と2年度にかけて行われました。



コロナ前の全体会



コロナ禍での代表者会

町全体で見ても、中部地区(3地区)を見ても課題や計画は共通点が多い様です。令和3年度から「地域づくり推進事業」の仕組みが変わり、新たに「地区間連携事業」の枠が増え、中部地区まちづくりセンターとして動き易くなりました。

「まちづくりセンター」の骨格が見えてきた気がします。今後、体制づくりに取り組んでいきます。

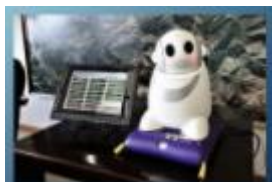
## コロナ禍での「Zoom 研修」と「DX 講座」そこから「今後の高齢者宅を考える」

今年はリモートでの研修が殆どでした。いつ終息するか判らない感染症、リモートでの研修、会議は今後更に増えてくるでしょう。そんな中 NPO 法人「みらいいで」による DX 講座が行われました。地域にデジタル化の波を起こそうと言うものです。皆さんお使いの「LINE」が一番身近ですよね。その他にも YouTube や Twitter Instagram Facebook 等々。また「見守りアプリ」、象印魔法瓶の「I ポット」、電球で安否確認出来る「ハローライト」、「みまもり電池」「見守りシステム」も増えています。

高齢者の方の見守りや、遠方にお住いのお子さんが親の様子を確認出来るので便利です。

下の写真見たことないですか？

この様なシステムを利用し生活するのが DX です。今後この様な家が増えてくるでしょう。



## 荒廃が進む山林や農地への対応

冬、中津川公民館にお邪魔した時、名古屋の名城大学の教授と学生が飯豊町の昔の住まいを調べに来ていました。「昔の山の暮らしを知っている人を紹介してほしい」と言うので、翌日萩生の渡部岩次さんを紹介しました。新沼・大平の生活と炭焼き人生や地名、木の育て方を聞いているうちに「荒廃が進む山林や農地」について調べる様になりました。地区別計画の現状と課題を解決するための資料を作成しています。

## センター周辺環境整備

昨年植えたチューリップ。桜と一緒に咲かないかと雪を消して頑張りましたが、間に合いませんでした。

今年度は野菜も植えて「芋煮会」でも出来ればいいですね。

# コ ロ ナ 退 散 !

是非、皆さんでござっとなごえ。



令和3年4月の様子です。